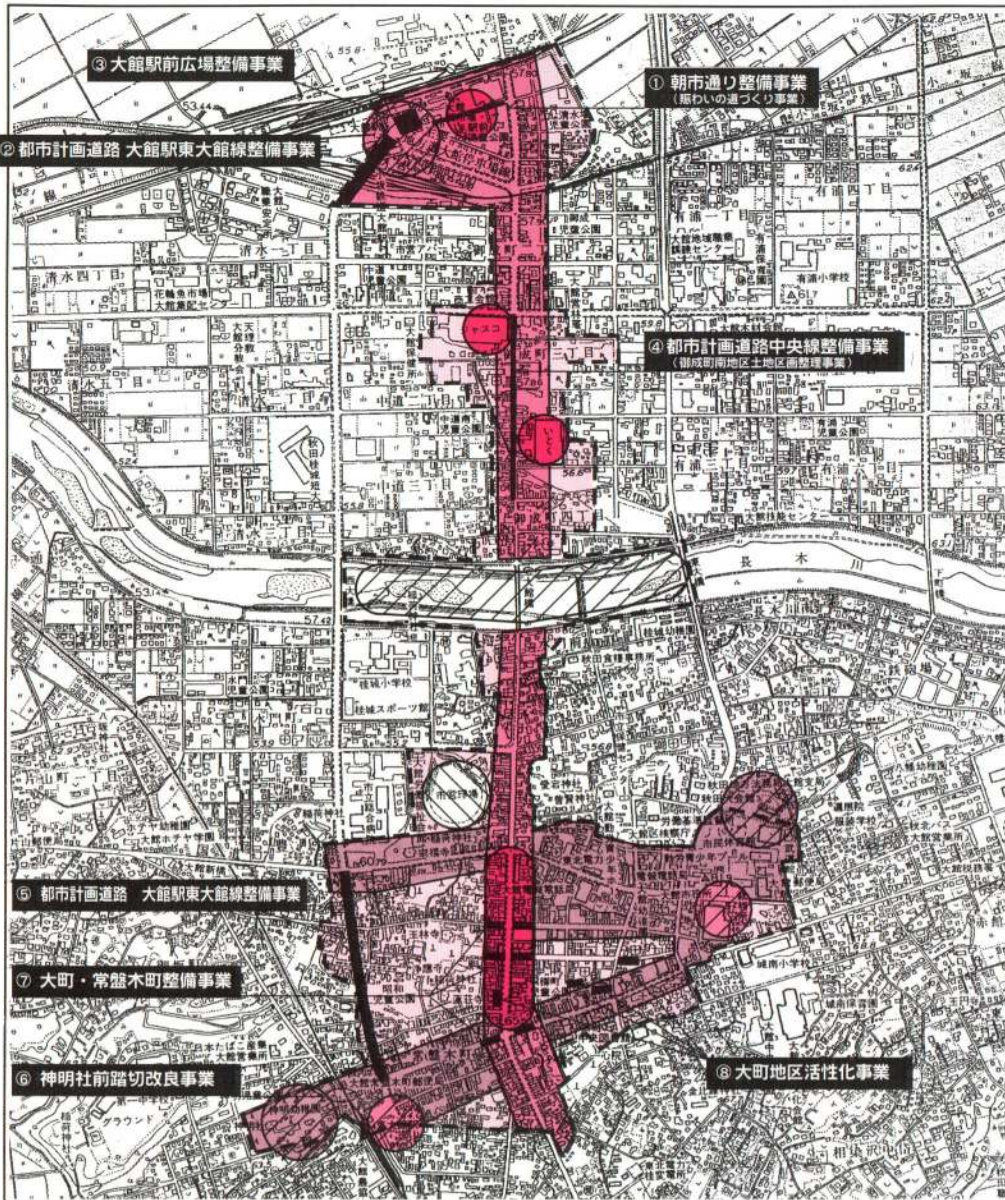


中心市街地の将来像

人々の営みの中で形成された中心市街地の構造を大切にしたり5つの核と3つのゾーンを設定し、多くの資源を活用したネットワークの形成により個性豊かな中心市街地の再生をめざします。



- 計画対象区域 (115ha)
- 商業核
- ▨ 情報発信核
- ▨ 歴史と交流の核
- ▨ 水と緑の交流の核
- ▨ 健康とスポーツの核
- 特産と商業ミニ拠点誘導ゾーン
- 歴史と商業ミニ拠点誘導ゾーン
- 中心市街地居住再生ゾーン

活性化のための整備改善の施策

おおむね5年以内の完成または事業着手をめざして、上記の図に示す①～⑧の事業に取り組みます。また、それぞれの施策の事業化をめざします。

人々が立ち寄りやすい街

- 路上パーキングシステムの整備
- 駐車場、駐輪場の設置
- 公共交通システム再生
- 融雪道路の整備

お年寄りが安心して暮らせる街

- 街のバリアフリー化
- 集い空間の創出
- 高齢者向け住宅の供給
- 高齢者福祉施設の整備
- 高齢者の利用に配慮した交通機関の整備

市民の憩いと交流の場となる街

- 歩道の整備
- 桂城公園、運動公園の再整備
- 橋詰め広場の整備
- その他公園広場の整備、設置
- 家族で楽しめる施設設備の整備
- ストリートファニチャーの設置
- アーケードの改善
- 電線の地中化
- 行政の出先機関の設置

人々が暮らす街

- 公的住宅の供給
- 生活支援施設の整備

観光客をひきつける個性を持った街

- 自然、城下町をテーマとした景観整備
- 坂を生かした景観整備
- 歴史の散策路の整備
- バードウォッチングの場の整備
- 展望広場の設置
- 段丘崖の緑の保全、整備
- 観光物産館の整備
- 大館市の特産である木材を生かした歩道整備、街並み整備
- 大型バスの停まれる駐車場の整備